

令和4年度第5回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和4年8月19日（金）午後6時30分～午後8時
- 2 場 所 吹田市役所 高層棟4階 特別会議室
- 3 欠 席 各1名
- 4 議事録（概要）

【山手育成室運営業務の実施状況の評価】

（事務局）

本日の委員の出席状況ですが、特別委員として評価対象となる育成室の保護者から代表して御出席をいただいております。選定等委員会規則の開会要件である、過半数の委員の出席を満たしていることを報告します。

本委員会は、委託事業者を選定評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員の名前は公表しないものとします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開します。

それでは、以後の進行は委員長に代わらせていただきます。

（委員長）

本日の案件や資料について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

<事務局から資料の説明>

（委員長）

事務局から資料の説明がありました。それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。まず、会計に関し専門的な知識を有する委員から、項目9の法人の経営状況について講評をお願いします。

（A委員）

【法人の経営状況についての講評】

（委員長）

それでは、各委員から評価したポイントや改善点等につきまして、御意見ををお願いします。

（委員）

児童の様子を見せていただき、人懐っこくて穏やかな表情で過ごしている児童が多かったことを評価のポイントとしました。

それから、夏の暑さとコロナ禍という条件の中で、児童の遊びについても限られた場所の中で工夫をしながら楽しそうに過ごしていたところも評価しました。

(委員)

児童の表情を見ると本当に居心地の良い顔をされていて、雰囲気がすごく良かったです。コロナ禍における行事等の活動について難しさを感じているようでしたが、指導員も何か実施したいと感じられていましたので、その辺りを工夫していただければと思います。すごく良い雰囲気の育成室だったと思います。

(委員)

児童が元気よく楽しそうに過ごしている姿がすごく印象的でした。

来年には育成室の校舎の大規模改修があると聞いています。現在使用している校舎が古い部分があると思うので、次の大規模改修で使い勝手の良い教室になってもらえたらと思いました。

(委員)

上級生の児童がいる保護者の方から、民間委託されても雰囲気は変わらずに直営時代の良い部分を受け継いでいると聞き、安心して預けることができます。子供たちも1度も行きたくないと言うことがなく助かっています。

気を付けていただきたい点として、4月は新入室児童も多く、指導員も把握するのが大変だと思いますが、保護者からの連絡の行き違いが何度かあったようで、留守だったのに子供が家に帰ってきてしまったということがありました。やはり危険ですし、保護者として不安になりますので、気を付けていただきたいと思います。

(委員)

コロナ禍で大変な環境だと思いますが、主任指導員を中心に連携して運営されており、育成室全体の良い雰囲気をつくっておられるなど感じました。

(委員)

児童の明るさや活発さに驚かされました。日頃からしっかりと集団づくりをされている成果だと思います。また、古い施設を丁寧に、かつ綺麗に使用されていることが印象として残りました。

改善点等につきましては今後のことかと思いますが、アンケートにもありますように、コロナ後の行事については保護者の方も楽しみにしておられると思いますので、どのような形で実施していくのか工夫していただければと思います。

(委員)

今年の夏休みから、通常8時30分からの開室が8時から開室していただいているので、大変助かっています。8時30分に子供を預けて9時までに出勤しなければいけないという保護者にとっては、近場の職場でないと難しいので、有給休暇を取得して遅れて出勤されている保護者もおられます。8時開室となり格段に子供を安心して預けることができ、仕事にも支障がない状態で出勤でき、すごく助かった保護者は多いと思っています。夜は

19時までと長い時間で、人員配置も大変だと思いますが、工夫しておられると思います。

(事務局)

それでは各委員からの御意見をいただきましたので、次の案件である委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは委員会としての評価を行いたいと思います。

評価シートにおきましては、全ての委員が実施状況を高く評価をしており、法人の経営状況も問題がないものと見ています。各委員から出された御意見やアフターコロナの問題もあるかと思いますが、当委員会としては、委託事業者による運営状況につきましては、契約書や仕様書の内容を高い水準で履行しており、事業目的を踏まえた保育運営が良好に行われている、児童の健全育成に大きく貢献していると評価したいと考えていますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、本日の意見を取りまとめたものを委員会の評価として答申書を作成するわけですが、私に一任いただいて、委員長の了承をもって決定とさせていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、そのように進めさせていただきます。次に、その他の案件に移ります。

(事務局)

今後の予定として、委員会からの答申を基に、現在の委託事業者との令和5年度からの5年間の随意契約を進める予定でございます。

(委員長)

以上をもちまして、山手留守家庭児童育成室の審議を終了いたします。

【2番目 千里丘北育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

本日の委員の出席状況ですが、特別委員として評価対象となる育成室の保護者から代表して御出席をいただいております。選定等委員会規則の開会要件である、過半数の委員の出

席を満たしていることを報告します。

本委員会は、委託事業者を選定評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員の名前は公表しないものとします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開します。

それでは、以後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

本日の案件や資料について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

<事務局から資料の説明>

(委員長)

事務局から資料の説明がありました。それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。まず、会計に関し専門的な知識を有する委員から、項目9の法人の経営状況について講評をお願いします。

(A委員)

【法人の経営状況についての講評】

(委員長)

それでは、各委員から評価をしたポイントや改善点等につきまして、御意見ををお願いします。

(委員)

すごく綺麗な環境で子供達は本当にのびのびと様々な体験をしていました。独自性のあるそろばんに取り組みまれていたり、遊具についても多くの種類を用意されていました。カレンダーの作成も児童自身でタブレットを用いて調べて作成しており、一生懸命頑張っている様子を見ることができました。

アンケートを見ると保護者の方からおやつについて心配の声がありましたが、おにぎりを提供するなどカロリー面で改善しておられましたので、評価させていただきました。

(委員)

本市の留守家庭児童育成室の中では初めて学校の敷地外の立地になるかと思いますが、物理的な距離が心の距離にならないように気を付けていかなければいけないと思います。何も意識しないままであれば、学校とも心の距離が離れていってしまうので、学校との連携については常に頭に置いて、そういう仕組みを作っていく意識をしていくことが必要だと思います。今後の本市の育成室に入室する児童が増加し、千里丘北育成室のように学校外に出るようなパターンが予想されるようであれば、学校連携の形を今作っておくことが必要だと強く感じています。

(委員)

児童数や指導員数が多いということで、運営がすごく難しい中だと思いますが、Tシャツ染めや、今日は何の日のカレンダーを工夫して作成していたり、水遊びでも子供たち

が喜びそうな道具もたくさんあり、工夫して運営されている点がすごく印象に残りました。

次に人件費について、従業員の経験年数やコロナ禍におけるイベント等の削減によって縮減される等の影響は考慮されますが、委託料に係る決算において、収入と支出の乖離が見受けられるため、職員給与の昇給やベースアップ等に活用するなど事業者として工夫していくことが望ましいと思いました。

(委員)

新しい綺麗な広い施設で良い環境の中で保育ができていますと思います。たくさん教室がありますが、子供たちがすごく穏やかな空気を持っており、どのクラスに行ってもウェルカムの空気ですぐに声をかけに来てくれて、子供たちが安心して過ごしていると感じました。

先ほどTシャツ染めの話もありましたが、指導員の方に話を聞くと、去年はコロナの影響で実施できなかったが、改善し実施できるように工夫していたり、コロナ後のことも楽しみにしながら計画をされている姿が見えたので、児童との関係性も良いのだなと思いました。大きな組織になり、職員確保に学生を活用しており、入れ替わりが多く苦勞すると伺いましたが、核になる職員が中心となり、引継ぎ等を工夫されていたので、千里丘北育成室は良い雰囲気なのだと思います。

学校との連携については、先ほどの委員が言われたとおり、これからもスムーズにいけば良いなと思います。

(委員)

一年生の頃はまだコロナ禍ではなかったので、将棋の先生を招いていただいたり、児童センターに行ったり、キッズニアに行ったりと様々な工夫がされていて本当に入室できて良かったと思う一年でした。コロナ禍となりイベントの実施に制限がある中でも、夏休みのお弁当宅配などのできる範囲の取組をしていただいおり、すごくありがたいと思います。

遊びのリードが上手な指導員がいたり、指導員の力量にも差があると思いますが、気になった点を主任指導員に伝えた際には、きちんと対応して改善してくださいました。具体的にお伝えした点として、昨年の初めには学生アルバイトがすごく多く勤務されており、保護者が来た時に挨拶されていなかったため、主任指導員に伝えたところ、指導して下さったみたいで改善されました。

一年生の頃からおられる指導員が数名おられるので、話しやすくありがたいと思っています。

(委員)

まず一番始めに思ったのは、約280人の児童がいるのに、子供たちが落ち着いていると思いました。それは、日頃の指導員の皆さんの努力、あるいは家庭や学校の先生方のサポートがあってこそだと思います。

取組については、Tシャツ染め、iPadを使ってカレンダーをつくる姿などを見ることができましたが、特にeそろばんという取組については初めて見ました。児童が学習に取り組む環境を整えて、力を付けていこうという工夫が見られますし、玩具も知育系のものがたくさん用意されており、1人でできない玩具が多いので、家庭でできない遊びが育成室で行われていると思いました。

来年度は更なる児童数の増加が想定されるということで、より一層注意していかなければならないのは、要配慮児を含めて職員間でどのように児童の情報を共有していくかだと思います。また、学校との連携についてもより難しくなってくると思いますので、努力を続けていただければと思います。

(委員)

コロナ禍と施設が移動したことで直接指導員と話す機会が減ったという保護者の声も多いようです。立地的に坂の下に育成室があり、坂の下まで迎えに行くのが大変ということもあり保護者が坂の上で子供を待っているという家庭も多く、指導員と話す機会が減ったという声も聴きます。懇談も希望者だけの年1回ですし、年に2、3回の親子行事も延期でなくなったりと共有する場面が少ないと感じています。

(委員)

委員の言われるように、コロナ後に保護者とのコミュニケーションを取っていこうという活動をより盛んにしていくことが、子供たちの豊かな放課後をつくる、もう一つのポイントだと思いますので、その辺りの工夫が必要となると思います。

(事務局)

それでは各委員からの御意見をいただきましたので、次の案件である委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは委員会としての評価を行いたいと思います。

評価シートにおきましては、全ての委員が実施状況を高く評価をしており、法人の経営状況も問題がないものと見ています。各委員から出された御意見やアフターコロナの問題もあるかと思いますが、当委員会としては、委託事業者による運営状況につきましては、契約書や仕様書の内容を高い水準で履行しており、事業目的を踏まえた保育運営が良好に行われている、児童の健全育成に大きく貢献していると評価したいと考えています。

なお、人件費について、従業員の経験年数やコロナ禍におけるイベント等の削減によって縮減される等の影響は考慮されるものの、委託料に係る決算において、収入と支出の乖離が見受けられるため、職員給与の昇給やベースアップ等に活用するなど事業者としての工夫を検討していただくよう助言したいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、本日の意見を取りまとめたものを委員会の評価として答申書を作成するわけですが、私に一任いただいて、委員長の了承をもって決定とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、そのように進めさせていただきます。最後に、その他の案件に移ります。

(事務局)

今後の予定として、委員会からの答申を基に、現在の委託事業者との令和5年度からの5年間の随意契約を進める予定でございます。

(委員長)

それでは、以上で令和4年度第5回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会を終了いたします。